



環境工学講座

教授

はた 俊 郎

博士（工学）

（岐阜大学・平 17）

経 歴

信州大学工学部社会開発工学科（土木）  
 株式会社フジタ 技術研究所  
 東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター 受託研究員  
 長野工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授  
 独立行政法人土木研究所 部外招聘研究員  
 グルノーブル大学（フランス） 客員研究員  
 富山県立大学環境工学科准教授（平 25.4～29.3） / 同教授（平 29.4～）  
 アリゾナ州立大学 CBBG Visiting scholar（H29.10～）

担当科目	環境修復工学 / 土壌水圏科学 / 専門ゼミ / プレゼンテーション演習 / 環境国際技術協力論 / 環境工学実験 / 環境工学概論
専門分野	環境地盤工学 / 環境リスク工学 / 応用微生物工学
論文・報告	「知識情報処理とリスク算定の適用による地下水汚染浄化の合理化に関する研究」（学位論文） 「深海域を対象とした微生物触媒法による炭酸塩析出促進技術に関する実験的検討」（土木学会論文集 G（環境），2014） 「高有機質土（泥炭）由来の土壌微生物による炭酸カルシウム析出技術に関する実験的研究」（土木学会論文集 C（地圏工学），2012） 「使用済植物油のバイオディーゼル燃料化における微生物機能の活用に関する検討」（土木学科論文集 G（環境），2012） 「ウレアーゼ活性を有する微生物による沿岸域を対象とした微生物固化の適用性評価」（地盤工学ジャーナル，2012）
特 許	「汚染土壌の無害化工程を含む保管方法」（登録番号 3967602） 「疎水性汚染物質による汚染の浄化方法」（登録番号 4025550）
所属学会	土木学会 / 地盤工学会 / 日本水環境学会
受賞歴	独立行政法人土木研究所理事長表彰

- 現在の研究課題
1. 微生物機能を活用した社会基盤施設の耐災性向上技術の開発  
環境負荷の小さな新しい社会基盤施設の耐災性向上技術として土壌微生物の働きを工学的に促進させる新しい技術の開発を進めている
  2. 鉱山地域の環境保全  
ミャンマーの鉱山地帯を対象に鉱山開発に伴う環境汚染の抑制技術について検討している
- 共同研究キーワード  
既設盛土の耐震補強 / 微生物固化 / 環境修復